



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 24 年 10 月 19 (金) 林道米代線全線開通式 編

日本風景街道のしろ白神の道のモデルルートの一部でもある森林基幹林道米代線が、着工から 20 年を経てついに全線開通しました。

林道米代線は八峰町、能代市、藤里町の 3 市町を東西に横断する延長約 30km、幅員 7.0m の 2 車線林道で、森林整備のための機能だけでなく、白神山地へのアクセス道など観光振興の面での活用も期待されています。全線開通に合わせて、米代線の愛称が公募され、全国約 1000 件の応募の中から、「米代フォレストライン」に決定されました。

10 月 19 日に行われた、開通式と祝賀会には工事に携わった関係者らが多数出席して開通を祝いました。米代線の起点となる八峰町峰浜石川でテープカットのセレモニーのあと、終点の藤里町藤琴の坊中橋までの全線をゆっくりとパレードしました。

起点や終点など各ポイントにはチェーンソーアートによる案内板が設置され、木材による「おもてなし」が感じられます。案内板の他にも、観光地である素波里ダムの周辺では、木製のガードレールやデリネーターも設置されています。そして、終点の藤琴川に架かる坊中橋は日本でも最大級の木橋で、藤里町の町有林を使って 2001 年に建設されました。木高研も坊中橋の建設から維持管理までこれまで深く関わってきましたので米代線の全線開通はとても嬉しいニュースでした。

＝「夕映えの日本海沿岸地区」と「ブナ原生林が広がる白神山地の南側玄關口」を結ぶ＝

よしろせん
米代線の愛称決定！

愛称名 **米代フォレストライン**

森林基幹道米代線は、延長約30km、幅員7.0mの2車線林道で、能代山本地区の森林整備のための幹線道路であるとともに、地域の暮らしに密着した道路です。このような米代線が、全線開通を契機に、今後より多くの方々に親しんで利用していただくため、ふさわしい愛称を公募しました。

公募は秋田県の公式ウェブサイトやチラシ、新聞等で行い、募集期間の平成24年6月1日から7月20日までに、全国から998件の応募がありました。

応募作品は予備選考会及び選考会で厳正に審査され、最優秀賞は『米代フォレストライン』（応募者 埼玉県倉科 守 様）に決定しました。



たくさんの御応募ありがとうございました。関係者一同、心より御礼申し上げます。

「米代フォレストライン」、親しみやすくて心地いい響きです。



テープカットする関係者（林道起点の八峰町峰浜石川地区で）



チェーンソーアートによる案内板（八峰町峰浜石川地区）



木製のガードレールとデリネーター（素波里ダム周辺）



林道終点の木橋「坊中橋」（藤里町藤琴川）



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

米代線は一般の林道よりも延長が長いのが特徴で、林道工事ではあまり例のない長いトンネルや橋梁が多数建設されています。全線開通までに20年の期間を要したのも納得がいきます。全線開通に際して、石岡前藤里町長の「感無量です」の言葉も印象的でした。

パレード終点の坊中橋では、高山太鼓白神会による和太鼓の演奏が披露されたあと、関係者によるくす玉開披のセレモニーが行われました。開通式に続いて、ホテルゆとりあ藤里を会場に、祝賀会が開かれました。3市町を代表して佐々木藤里町長からの挨拶や来賓からの祝辞では、これからの米代線の多方面での活用への期待が感じられました。祝賀会での配付資料には米代線を含むルートが日本風景街道に登録されたことも記載がありましたが、この機会にのしろ白神の道と米代フォレストラインに訪れる人をおもてなしできるようにネットワークの活動範囲を広げていきたいと思えます。



終点側の案内板と坊中橋

文： 佐々木 貴信



くす玉開披カットする関係者(林道終点の藤里町藤琴坊中橋で)



高山太鼓白神会による演奏



佐々木文明藤里町長の挨拶



藤里町の伝統芸能「駒踊り」の披露